

平成29年度入試【3年次編入学】

【人文学】

(法文学部 言語文化学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は2ページである。解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙と下書き用紙は持ち帰ること。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(加藤周一「誰でも読む一冊の本について」より。一部改変)

(注) 蜀山人：江戸中期・後期の狂歌人、戯作者。

- 問1 下線部①について、(A) と (B) の部分に、それぞれ「遠心力」あるいは「求心力」のどちらかひとつを入れなさい。
- 問2 下線部②について、「このような図式」とはどのような図式なのか、本文に即して説明しなさい。
- 問3 下線部③について、信者と文化に「 」をつけることで筆者は何を強調しようとしているのか、本文に即して説明しなさい。
- 問4 下線部④について、どのような役割なのか、本文に即して説明しなさい。
- 問5 下線部⑤について、「集団的志向性」とはどのようなことか。日本における「集団的志向性」の例をひとつあげ、説明しなさい。